

周りの人の安全基地になる

作成者：愛着こう

(安全基地が今企業に必要なわけ)

「報連相が遠慮なく行える組織・新たな挑戦の提案がしやすい組織」となる。

(安全基地を周りの人に提供してあなたにとっていいこと)

部下のマネジメントがしやすくなる。

(安全基地のなり方)

安全基地となる人が「安全基地の3段階」をこなすこと。「受け入れる」、「理解する」、「励ます」の3段階。

「受け入れる」：どうしたの、大丈夫？・うんうん。

「理解する」：そうだったんだね、これはどうだったの？・じゃあこういう見方もできるね。

「励ます」：君なら大丈夫だよ、でも何かあったらいつでも頼ってきて大丈夫だよ。

(安全基地になるための用語集・行動集)

「受け入れる」

「マインドフルネスなどの行動で自分の声の調子や態度がマイナスの感情を表さないようにする」

「その人の個性や性格を知っておく」

「失敗から何を学んだかきく」

「問題とその人を同一視しない」

「理解する」

「普段からその人がどんなポテンシャルを持っているか考えておく」

「その人にとって適切なビジネス成果の期待をする」

「その人が自分を超越ることが自分の仕事だと受け入れる」

「普段から積極的に話を聞く練習をしておく」

「自由回答の質問をする」

「質問の回答を急かさず、間や沈黙を恐れない」

「その人を励ますメッセージを適切なタイミングで言う」

「励ます」

「その人が直面する問題のプラス面にフォーカスする」

「その人が問題解決に挑んでもいい点を伝える」

「普段から失敗した人に対して公正な対応をとり、人のメンタルに配慮する」

「できるだけ自分の不安を相手に伝わらないようにする」

「いつでも話せることを示し、待機する」



この資料は要点まとめです。愛着こうウェブサイトも御覧ください。